



おすすめの本 高学年



ほん
本をよむのは だれのため？ おかあさんのためじゃない。
がっこうのせんせいのためでもない。たくさんたべて、せが
のびるように、たくさんよんで、^{おお}こころを大きくするため。
ぼくのため。わたしのため。

😊 よみきかせ  よみもの  むかしばなし  かがく  こころ



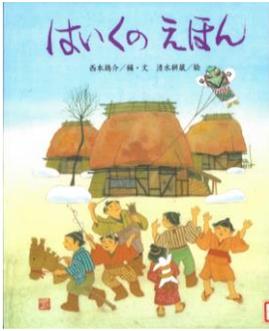
きになる



おおなり修司/文 広瀬克也/絵 絵本館

あんなこと、こんなこと、学校には気になること
がいっぱいだ～！ 短い絵本ながら、簡単なし
かけもあり、教室での読み聞かせの導入にぴっ
たりです。卒業間近の6年生には、じ～んときち
やうかも。

EI



はいくのえほん

西本鶏介/編・文 清水耕蔵/絵 すずき出版



俳句は「世界でいちばん短い詩」だって知っていましたか。聞きおぼえのある有名な俳句を、季節ごとに、やさしい鑑賞文と詩情あふれる絵で紹介します。美しい日本語の世界を、親子そろって楽しみましょう。

E 入



とうふやのかんこちゃん

吉田道子/文 小林系/絵 福音館書店



かんこのいえはとうふやさん。お店はとんがり山のふもとにあります。思うように売れません。ひとり悩むとうさんを見て、なんとかちからになりたいと思っていると、かんこのもとに2匹のキツネがあらわれます。

913 日



富岡製糸場

生糸がつくった近代の日本



田村仁/文・写真 福音館書店

世界遺産に登録された富岡製糸場。繭から糸をつくる技術は自動車などの産業に活かされて、養蚕・製糸業は現在の生活とも深いかわりがあります。「むかしの須坂もこうだったのかなあ」と想像してみましょう。

Z



千びきおおかみ 日本のこわい話



筒井悦子/再話 太田大輔/絵 こぐま社

旅の商人が森へ迷いこみ、木の上で一夜を明かそうとします。夜がふけると、おおかみがはしごのように連なって、その上をかけあがってきたのが……日本の昔話からこわい話を6話。はじめてのひとり読みにぴったりです。

913ツ



わけありリンゴのアップルパイ



あさいゆうこ/作 あべまれこ/絵 BL出版

ぼくが、おかあちゃんの誕生日にカレーをつくっていると、おとうちゃんが持ち帰ってきたのは、台風の被害で傷ついたリンゴたち。わけありのリンゴなんて、おかあちゃんへのプレゼントになるのか？

E7



ジュニア空想科学読本



柳田理科雄/著 藤嶋マル/絵 汐文社

タケコプターが本当にあったら、空を飛べる？
アンパンマンの顔は、普通のアンパン何個分？
アニメやマンガや昔話など、空想のできごとを科学的に考えるシリーズ。笑って読むうちに、すっかり理科が好きになる！

404ヤ



ジェーンとキツネとわたし

ブリット/文 アルスノー/絵 河野万里子/訳 西村書店

エレーヌはひとりぼっち。仲間はずれにされても、大好きな本『ジェーン・エア』を読んでやり過ごす。しづしづ参加した学校の合宿で、エレーヌが出会ったのは……絵本でも、マンガでも、小説でもない、思春期の本。

9537



イオマンテ めぐるいのちの贈り物

寮美千子/文 小林敏也/絵 パロル舎

アイヌに伝わる熊送りの儀式「イオマンテ」を題材にした物語。「ぼくは、アイヌの男の子だ」「わたしは、ちいさな熊のカムイだ」と話し手が変わっていくので、それぞれの気持ちになって読みすすめていける。

Eハ



算数の天才なのに

計算ができない男の子のはなし

エシャム/文 ゴードン/絵 品川裕香/訳 岩崎書店

「算数障がい」って知っていますか？ 算数は好きだけど、計算ができない。そんな、マックスのような男の子がいるって、すべてのひとに知ってほしい。そして、「だいじょうぶだよ」と声をかけてあげよう。

E1